



急がば廻れ

三重県介護支援専門員協会
会長 高橋 恵美子



私たち介護支援専門員は人とむきあい、その方の人生を深く（個人の生活歴、病歴、趣味、友達、親子兄弟の関係性等）を知ることで、今後の生活を更に豊かになるよう支援する立場にある。

この職は通常であれば踏み込めないところに入らせていただき、ご本人・家族の思いを受け止めながら生活の質を向上するためのお手伝いをしていくものである。

介護保険制度等の活用、様々なインフォーマル資源の活用や掘り起こしをして、ご本人や家族の力強さを引き出しその目標に近付けていく過程を日々模索して、喜び、悩み、人とむきあうことの難しさを感じている。

私たちは仕事に向き合う時、熱意と冷静な判断力を持っていることが重要だと考える。

日々の忙しさにどこかで甘え、手間を省こうとしていないだろうか？

同じつもりで発言しても、冷静に対応しようとしても、時として裏目に出て、真意とは違う受け止めをされてしまうこともあり、落ち込み、悩み、自信を失くすことがある。

そんな時、相談できる先輩、仲間がいると、少し冷静に自身の対応について振り返り、見直しの機会ができる。

毎年、実務研修に関わらせていただいている。

そのたびになにか清々しさを感じている。日常の業務を離れて基本に戻り、取り組むことが介護支援専門員としての大切なものを再確認させてくれる。

常に謙虚で手間を惜しまず取り組むことがその人らしい生活を支える近道となる。

総会報告



通常議案及び紀南支部設立に伴う理事の追加



三重県社会福祉会館講堂において、会員総数942名に対し本人出席142名、委任状出席360名がありました。

平成24年4月21日（土）、平成24年度三重県介護支援専門員協会総会が開催されました。開会宣言に続き、高橋恵美子会長の開会の挨拶、総会成立の報告が行われました。議長には桑員支部の福本美津子支部長が選任され、その進行の下、以下の議案が全て承認されました。

- 第1号議案・・・「平成23年度事業報告」
- 第2号議案・・・「平成23年度収支決算報告及び会計監査報告」
- 第3号議案・・・「平成24年度事業計画（案）」
- 第4号議案・・・「平成24年度収支予算（案）」
- 第5号議案・・・「理事の追加」（紀南支部設立に伴い）

ここでは、協会活動に特に重要な平成24年度の第3号議案「平成24年度事業計画」について報告をいたします。事業計画には、その根幹を成す活動方針として以下の方針が掲げられています。これは昨年度の活動実績とその反省を踏まえ作成された方針です。

平成24年度事業計画

1. 平成24年度中に会員数を1,050名とする。そのために、各種研修会などを通じ入会勧誘を進める。
2. 支部活動の推進と連携を推し進める。特に、紀北、紀南等の地理的に会員が研修会に参加し難い地域にある支部に配慮し、松阪周辺での研修会開催や県協会からの講師派遣等のバックアップを行う。
3. ホームページについてはメンテナンスの方法について検討を行う。また、個別の会員への連絡についてメール等を利用した連絡方法について検討を行う。
4. 一般市民、関係諸機関・団体に介護支援専門員及び当協会の活動をアピールするために当協会のリーフレットを作成する。
5. 平成23年度に実施した会員実態把握調査から得た知見を基に、新たなテーマを設定し調査研究事業を行い、協会運営と介護支援専門員の地位向上に役立てる。
6. 協会の社会的信用の向上、より開かれた組織運営のために当協会の法人化について検討を進める。

さらに、この方針に基づき、各部会が以下の事業計画を立てています。

広報部会

各会員への情報提供と関係諸機関に当協会の認識を深めさせる目的で総会後と年度末の年2回広報誌を発行する。一般市民への周知活動を進めるため、及び会員の入会促進のため、協会のリーフレット等の作成について検討を行う。実務研修等の最終日に入会申込書と一緒に配布するものを作成する。協会ホームページのあり方について具体的な検討を行う。各支部の研修開催の案内や、研修後記的な内容特に研修内容のポイントや研修資料の掲載等について各支部の代表者と検討を進める。

研修部会

研修事業を実施していくために、研修内容の決定、会場や講師要請等の諸準備を行う。研修事業の企画については、常に会員のニーズに沿った研修内容・方法となるよう配慮する。また、各支部で行われる研修活動との内容についても、調整をしていく。それにより、職能団体として体系的な研修が行われるようにしていく。実施に当たっては、必要に応じ各支部から研修事業の企画運営を担当する部会員の派遣依頼を行う。

総務部会

事業計画・事業報告案・予算・決算案の検討、各種の規定の拡充等、当協会の基本的な運営について検討する。1,050名を目標として会員拡大と会費収納率の向上を行う。

各支部の活動について支援を行う。

調査・研究事業の企画運営及び進捗状況の管理を行う。

平成24年度研修会の予定

開催日時	研修内容	講師	実施場所
8月26日(日)	地域包括ケア時代の介護と地域医療連携	長尾 和宏 氏 (医師)	三重県人権センター
10月27日(土)	ベーシック講座	福田 雅文 氏 (菰野町)	松阪市内
2月16日(土)	協議中	山路 克文 氏 (皇學館大学)	未定

※諸事情により変更の可能性がありますので、それぞれの案内等でご確認ください

第一回研修報告

介護報酬改定と法令遵守

平成24年度第1回研修会は、総会記念講演として、「介護報酬改定と法令遵守」というテーマで総会終了後に開催しました。講師は、三重県の長寿介護課明石課長と福祉監査課前田専門監です。

明石課長からは、今回の報酬改定の内容について、県が独自に作られた資料を使って説明いただきました。資料は、パワーポイントできれいにまとめられていました。また、特養の入所基準策定指針にも触れられ、県の方で特養の入所待機者をできるだけ正確に把握するためにも、本人死亡時等の取消依頼書や入所申込状況照会票の活用の要請がありました。

前田専門監からは、まず、「法治主義と法の支配」の違いについて触れられた後、指導・監査の視点から運営基準の中身について、ポイントをお話いただきました。また、ケアマネジメントの意味やケアマネとサービス事業所の関係等についても触れていただきました。



ロゴマーク
決定!



先般、当協会ロゴマークの募集を会員の皆様よりいただきましたところ多数の作品が寄せられ、厳正なる審査を行った結果、下記のとおり決定いたしました!

三重県の山々を緑色の▲(三角形)で表現し、伊勢湾の海をイメージした青色の波と白い川で三段にくぎることで、三重県の「三」の字にみたく、協会の名称を入れました。

ご応募いただいた多くの方々に厚く御礼申し上げますとともに、今後とも当協会へのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



File 6 ケアマネジャーの魅力

紀南支部 御浜町地域包括支援センター 西 勉

紀南地域にもようやく、昨年の11月に三重県最後の支部を設立することができました。設立にあたりましては多くの皆様に、ご支援、ご協力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。まだまだ会員数も少なく、活発な活動もできていませんが、少しでも魅力ある会として活動できるよう努めていきたいと考えています。

それにあわせて、「ケアマネジャーの魅力って何なのだろう?」と考えてみました。当地域では、多くの事業所でスタッフ確保に苦慮している現状があり、ケアマネジャーの確保についても同様な状況にあります。有資格者はいるのに、ケアマネジャーという仕事をしたいという人が少ない、ということは「ケアマネジャーは楽しくない」ということでしょうか。

また、以前だと受験資格が得られたらケアマネジャーの資格取得を目指していた人が多かったように思いますが、今は受験資格が得られても、試験を受けない人が増えてきているように感じます。確かに、ケアマネジャー同士の話の中でも、大変な思いをしている話はよく聞くのですが、「こんな良いことがあった」「こんな良い体験をした」といった話をほとんど聞いたことがないような気がします。

そこでここからは、「魅力づくり」という視点で少し考えてみます。ケアマネジャーの魅力を感じてもらうためには、当然ですが自分たちが魅力を感じる必要があります。では、「ケアマネジャーの魅力」を感じるためには何が必要なのでしょう。そのひとつのとして、「達成感を得る」ということが挙げられるのではないかと私は考えます。多くのケアマネジャーが一生懸命ケースに関わり、大変な思いをしながらマネジメントしていると思いますが、頑張った結果を形にできずに業務に追われ、達成感を得ることなく過ごしているのではないのでしょうか。そうであるならば、結果を形にできるようになれば達成感を得られるようになるのではないのでしょうか。そうすることによって、自分たちの仕事の存在意義や魅力についても感じる事ができていくのではないのでしょうか。

いずれにしても、ケアマネジャーという職種はやりがいがあり、重要な位置を担っていると思います。そのためにも、私たち自身が魅力を感じながら仕事ができるようになりたいものです。

INFOMATION

先頃、介護報酬改定が行われたばかりですが、次期改定はもちろん、介護支援専門員の存在自体に大きな影響を与えるであろう「介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する検討会」が厚生労働省で進められています。日本介護支援専門員協会のホームページでも、この検討会に備えアンケート調査が行われておりましたので回答をされた方もいらっしゃると思います。

この検討会は5月末までに3回開催されておりますが、私たち介護支援専門員はこの検討会を注視し、検討会の論議の行方によっては声を上げていかなければなりません。協会は、その声を伝えるためのシステムでもあるはずです。



編集
後記

紀南支部が創設され、三重県介護支援専門員協会9支部がすべて立ち上がりました。

ロゴマークも決まり、介護支援専門員の資質向上と社会的地位向上を目指して、一丸となり頑張っていきましょう。ケアマネ通信第9号お届けします。ブレイクタイム…お楽しみください。

